

平成19年8月期 月次売上速報

- 数値はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値とは異なります。
- ソフマップを除く当社小売グループのPOSデータ、及び、インターネット通販の売上データを集計しております。
(当社小売グループ:ビックカメラ、ビック・スポーツ、ビック・トイズ、ビック酒販、生毛工房)
- 数値には携帯電話加入申込手数料、インターネット取次手数料等の手数料売上は含まれておりません。

1. 売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年				平成19年		上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月									
売上高	100.2	102.3	100.2	100.3	103.7	108.5	102.2	105.7	105.2	101.4	108.6	106.6	107.6	105.8	104.0

2. 品目別売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年				平成19年		上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月									
音響映像商品	92.0	104.8	99.3	96.9	102.7	101.4	99.1	109.3	107.9	91.0	98.3	112.3	109.0	104.7	101.8
家庭電化商品	107.1	108.7	105.3	102.1	108.7	110.6	106.6	111.4	109.8	110.6	119.8	97.7	118.3	110.7	108.8
情報通信機器商品	99.6	95.8	91.0	91.8	94.1	104.6	95.7	100.9	99.8	98.2	105.3	102.8	99.4	101.0	98.3
その他の商品	110.7	113.0	124.9	123.8	128.9	132.3	122.5	107.9	113.2	118.5	121.7	119.9	116.7	116.1	119.3

3. 概況

8月度は、全店前年比107.6%となりました。前年は、藤沢店を8月4日に開店、また、大型販促キャンペーンを8月10日より全店で実施しておりましたが、その影響を吸収し順調に推移いたしました。

音響映像商品は、薄型テレビ、DVDレコーダーがともに好調に推移し、メモリオディオ、DVDソフトが苦戦したものの、109.0%となりました。

家庭電化商品は、梅雨明け以降の断続的な猛暑日によりエアコン、また、冷蔵庫が好調な推移をみせ、調理家電、理美容家電も堅調な推移をしたことから、118.3%となりました。

情報通信機器商品は一眼レフデジタルカメラ、コンパクトデジタルカメラが好調に推移し、パソコンソフト、携帯電話も堅調に推移したものの、パソコン本体が夏モデルからのモデルチェンジ端境期に重なったことからやや伸び悩み、99.4%となりました。

その他の商品は、ゲーム機本体及び関連するアクセサリ、玩具、スポーツ用品、酒類が好調に推移したことから、116.7%となりました。

その他:

8月23日木曜日に、当社25店舗目となる「ビックカメラJR京都駅店」を開店し、順調なスタートを切りました。

第27期の決算は、10月15日の発表を予定しております。